

表丹沢方面の自然公園情報

日付：令和7年10月10日（金）

コース：大倉-堀山の家

天気：曇り

●この登山道は県と協定を結んだボランティア団体の方々の補修が継続されています。濡れると滑りやすい石畳には、挟んだ丸太で危険防止や耐久性向上が図られていました。丸太の中心に彫られた溝には排水への気配りが感じられます。



中心に彫られた溝

●土壌流失が危惧される側面の保護も進んでいました。登山道維持には多くの人の手がかかっています。



作業に使う資材

●カエデの紅葉が美しい登山道ですが色づいた気配はまだありません。秋の花も少ない印象でした。



キバナアキギリ

●目に留まったのはクヌギのドングリでした。落下の衝撃で実と殻斗（かくと）の別々に見つかるものがありました。クヌギの殻斗はトゲ状になっているのが特徴です。



クヌギの実



クヌギの殻斗

●大倉の登山口には注意喚起の掲示がありました。日に日に日照時間は短くなっています。登山では日没時刻等の情報確認が重要です。また、日没前の下山計画の場合を含めライト等の装備は怠りなく。



日没時間等の注意喚起